

やさしい日本語の取組に必要な視点

<やさしい日本語>

- ・「易しい」の基準をどこに置くか

<多言語化とのバランス>

- ・言語の種類×情報の種類

やさしい日本語:「易しい」の基準をどこに置くか

普通徴収の 払い方

毎年 6月に 自分が 住む 市区町村から 住民税の 納税通知書が 届きます。税金を 払う日は 1年に 4回で す。

- 6月
- 8月
- 10月
- 1月

普通徴収は 口座振替が 納付書 を 使って 払います。クレジットカードで 払える 市区町村も あります。

口座振替の 場合

市区町村の 役所が 決めた 銀行か 郵便局で 口座振替を 申請します。申請するときは 次のものを 用意して ください。

- 選 帳
- 判子
- 納税通知書

普通徴収（ふつうちょうしゅう）

ふつうちょうしゅう 収 < = あなたが 個人市民税・県民税を 払います。 >

から 個人市民税・県民税の お知らせが 届きます。

まいとし がつごろ とど 毎年6月 頃に 届きます。 ふつうちょうしゅう 払う ほうほう 方法は 2つあります。

1 納付書（のうふしょ）で 払（はら）う

のうふしょ せいきん はら かみ 納 付 書 < = 税 金を 払う 紙のこと > で払います。

から のうふしょ とど 納 付 書が 届きます。

のうきげん はら 納 期 限 < = 払わないと いけない ひ > までに 払ってください。

はら 払 う ことが できる ばしょ 場所は

ぎんこう ゆうびんきょく コンビニ しやくしょ ①銀行 ②郵便局 ③コンビニ ④市役所 です。

2 口座振替（こうざふりかえ）で 払（はら）う

こうざふりかえ ぎんこう こうざ じどう はら 口 座 振 替 < = 銀行の口座から 自動で 払います。 >

あなたが きめた ぎんこう こうざ のうきげん じどう はらわれます。 決めた 銀行の口座から 納 期 限に 自動で 払われます。

ほうほう この方 法は あなたが てつづき ひつよう 手続きをする 必 要があります。

話しことば = 相手がいる → その人に伝わればOK

書きことば = 広く伝える → 基準となる日本語能力の設定が必要

【静岡県やさしい日本語の手引き】原則日本語能力試験のN4,N5の語彙を使うこと

多言語化とのバランス：・言語の種類×情報の種類

■ 外国人住民の日本語能力（読む）＜R6静岡県多文化共生基礎調査＞



すべての言語を多言語化することが必要とは限らない

↑

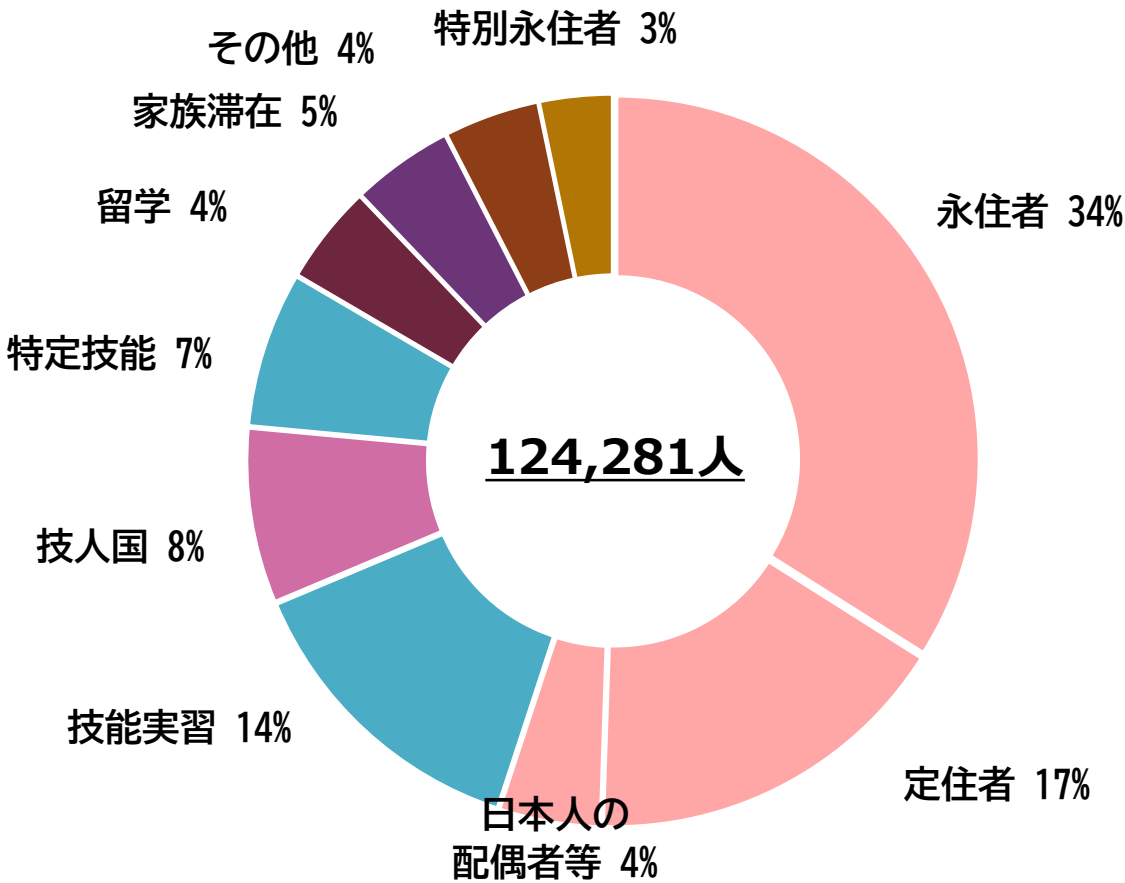
やさしい日本語があればすべて解決するわけではない

静岡県 外国人県民への情報提供に関するガイドライン（R7.8月改正）

- すべての情報について、やさしい日本語と多言語（英語、ポルトガル語）での情報提供に努める。
- 緊急情報については、これに加え、フィリピン語、ベトナム語、中国語等、可能な限り多くの言語で情報発信する。

静岡県の外国人の状況（在留資格、国籍）

■在留資格別



(法務省在留外国人統計 2024.12月末)

■国籍別

	国籍	人数	主な在留資格
1	ブラジル	32,151	永住者、定住者
2	フィリピン	20,737	永住者、定住者
3	ベトナム	20,277	技能実習、特定技能
4	中国	10,555	永住者、技能実習
5	インドネシア	7,356	技能実習、特定技能
6	ネパール	5,944	留学、技人国
7	ペルー	4,805	永住者、定住者
8	ミャンマー	4,546	技能実習、留学
9	韓国	4,179	特別永住者
	その他	13,731	
	合計	124,281	

静岡県の外国人の状況変化（2020-2024比較）

順位	国籍	人数	2020-2024増加率	2020-2024増加数
	静岡県総数	124,281	124.7%	24,652
1	ミャンマー	4,546	298.1%	3,021
2	ネパール	5,944	239.8%	3,465
3	インドネシア	7,356	219.7%	4,008
4	スリランカ	2,851	215.3%	1,527
5	インド	1,190	196.4%	584
6	ベトナム	20,277	151.0%	6,848
7	タイ	1,827	138.0%	257
8	パキスタン	639	131.8%	154
9	フィリピン	20,737	120.3%	3,494
10	米国	909	108.6%	72
11	台湾	848	104.8%	39
12	ブラジル	32,151	103.7%	1,142
13	ペルー	4,805	102.7%	127
14	中国	10,555	92.8%	-819
15	韓国	4,179	92.4%	-343

- 今まで割合の少なかった国籍が増加
→ 多言語対応の限界
- 就労資格（特に技能実習、特定技能、留学）が多い
→ 一定の日本語能力